



# 南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成26年10月31日

校長 福田 俊彦

## 2学期の学校生活では

校長 福田 俊彦

校庭のみかんが色づき始め、「ありがとうをとどけます」の言葉が秋空に映えて見える頃となりました。

この10月、65人の5年生と軽井沢移動教室に行ってきました。子供たちは、生活を創ることを通して、多くの思い出とともに、自らの成長を感じたことと思います。そして、読書を推進する図書委員会では、「としよまつり」を計画しました。本の世界旅行、図書室銀行読書貯金、図書クイズ、葉の展示会などです。学校内外で積み重ねられる体験が子供たちから子供たちに引き継がれていくことを期待しています。

そのような中、1学期を終え、2学期を迎えました。年度当初の保護者会では、ご参会いただきました保護者の皆様に、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる子供」を育てることを根幹とし、3つのことについて話をさせていただきました。この半期を振り返ってみます。

一つには、「みんなの子供をみんなで育てる学校」です。登下校、学校行事の際には、多くの地域、保護者の方々に子供を見守っていただきました。子供たちに声をかけてくださる方もいらっしゃいました。ありがたいことです。子供たちも多くの方々の関わりの中で安全な生活ができることを感じていることと思います。南町小学校の子供を地域の子供として見守り、関わりを続けていただけることをお願いいたします。

二つには、「わかる・できる授業を創っていく」ことです。授業のねらいを明確にし、振り返りを行っています。学習内容が分かる黒板の書き方をしています。子供が戸惑わない質問の仕方を行っています。子供の発言に対しては「なぜ」「どうして」と聞き返し、考えを深めさせることも積み重ねてきました。ある授業の最後に「もう終わりなの。」という子供のつぶやきを聞くことができました。このような授業をひとつでも多く展開してきます。

三つには、「危険を回避する力をつけていく」ことです。子供たちを取り巻く環境についてお伝えをしました。何が安全であるのか、どのような行動をすることが身を守ることになるか、学校生活の中でも学習する機会を意図的に設けています。しかし、この力を学校だけで身につけることはできません。地域、家庭との連携が重要です。今後も安全を守るための方法や生活のあり方について話し合う機会をもっていただければと思います。

子供の成長は、南町小学校の子供を「みんなの子供」として見守っていただいている全ての方々のお力添えがあつてのことです。この2学期も子供たちへのご支援をよろしくお願いいたします。